

足底板の国産化に伴い価格を改訂しました

これまでエルデの足底板は、オーストラリアのショットさんの工房で製作されていましたが、ショットさんの工房で修業した若い日本人技術者が日本での製作を開始しました。ショットさんの技術による優れた足底板が、やっと国産化されることになったのです。

もちろん、お客様の足の状態を把握し、どのような靴や足底板が必要かを判断し、できあがった靴や足底板が実際に合っているかどうかのチェックを継続して行なうのがエルデの仕事ですから、お客様への技術の提供は全てエルデが責任をもって行なっています。

ですから、靴の補正や足底板の製作を外注に出す場合には、指示通りにできているかどうかのチェックがもっとも大切で、納得できるまで何度でもやり直さなければお客様に渡せないわけです。

それは、ショットさんの工房へ発注する足底板といえども同じことで、やはりたくさんの中には指示通りにできていないものもあり、改めて送り返すために、お渡しするのが大幅に遅れてご迷惑をおかけしたこともありました。

複雑で微妙な補正などは、できるだけエルデで行なうようにしていますが、相談業務を中心にしている「足

と靴の相談室エルデ」としては製作・加工をすべて内製化というわけにはいきませんので、ショットさんの技術を身に付けた優れた日本人技術者の登場を待ち望んでいました。このほど、オーストラリアでの修業を終えた杉本喜昭さんが、ショットさんの指定する素材と方法で、ショットオリジナルと同じ品質の足底板を日本で製作し始めました。

そこで、エルデとしては、輸入に伴う関税をはじめとした経済的・時間的ロスを省くために、足底板を外注する場合は杉本さんをお願いすることにし、それに伴い、輸入のためにかかっていたコスト分の値下げと納期の短縮が可能となりました。再調整が必要な場合も当然早くできることとなります。

製品の品質については、従来通り、エルデの指示に基づいて製作された足底板をエルデが責任をもってチェックしてお渡ししますので、何ら変わることはありません。もちろん、エルデで製作するものもあります。

やっと、ショットさんの技術が日本に根をはり始めたということです。カールハイツ・ショットの整形外科靴技術の日本への普及・定着という私たちの願いが、ここに大きく一歩前進することになりました。

足底板の新価格

(1)一般タイプ	30,000円
・子供(～小学生)	22,000円
・子供(中・高生)	25,000円
(2)特殊加工タイプ	33,000円
(3)簡易タイプ	18,000円



エルデが選んだ スニーカー

踵のホールドがしっかりして、足先ゆったり。
足底板使用に最適なスニーカー。

ランニング用、ウォーキング用として好評。
色：ワイン、ベージュ。
日本社製

¥9,800



軽くて暖かい室内履き

アーチを支えるフットベッドが立ち仕事にも疲れを感じさせません。
本底はラテックスコーティングのフェルト地で滑りにくい。
冬のプレゼントに最適です。

足底板も装着可能。
脚長差のある方には補高も可能。
サイズは1センチきざみ。
色はネイビー、オレンジ系など各種。
ウール100%



ドイツ製 ¥6,500